



特集1 おかやまフェアトレードデー!	P 2
特集2 情報公開	P 3
事業報告 情報相談コーナー・ 図書資料室ボランティア研修会 ほか	P 4
私、岡山に住んでいます オランダ スロートハーク・ワウターさん(仏壇店勤務)	P 7
世界の文化 ～収穫祭編～	P 8
Think Global, Act Local ～県内国際団体のご紹介～ 岡山倉敷フィリピンサークル	P 8
お知らせ 海外技術研修員の来岡 ほか	P 9
イベントカレンダー 国際貢献・協力セミナー ほか	P 9

おかやま 国際交流



色鮮やかなガーナコットンでリースづくり体験



ポスターセッションで高校生の発表を聞く参加者



基調講演講師の原 ゆかり氏

おかやまフェアトレードデー!

5月18日(土)

共催：JICA中国、岡山フェアトレードの会、岡山発国際貢献推進協議会、岡山ESD推進協議会



こちらのQRコードを読み取り、
動画をご覧ください。

毎年5月は「世界フェアトレード」月間として、日本だけでなく世界中のフェアトレード団体が持続可能な社会の実現のためのイベントに取り組んでいます。

岡山でも地域を挙げてフェアトレードについて理解を深める「おかやまフェアトレードデー!」を開催しました。

基調講演には、ガーナNGOのMY DREAM.org共同代表の原 ゆかり氏を講師に迎えました。その他、SDGs(持続可能な開発目標)を通じて2030年に向けた未来を考えるワークショップ、県内の8団体によるポスターセッション、トークセッション、アフリカ布を使った小物の手工芸体験など、さまざまなイベントや資料展示により、国際理解を深めました。

(詳細は、次ページをご覧ください。)

SDGsワークショップ

ファシリテーター 岡山県JICAデスク 守都 未来氏

**ポスターセッション
活動発表団体**

岡山学芸館高等学校、岡山県立玉島商業高等学校、岡山フェアトレードの会、岡山ユニセフ協会、コットン古都夢、jam tun ジャムタン、生活協同組合おかやまコープダフェプロジェクト-Danfe Project

基調講演

講師 MY DREAM.org共同代表 原 ゆかり氏

トークセッション

コーディネーター 岡山フェアトレードの会 横山 明子氏
パネリスト jam tun主宰 田賀 朋子氏、原 ゆかり氏

クラフトショップ

講師 田賀 朋子氏、原 ゆかり氏

ワークショップ 37名の参加者が、SDGs(持続可能な開発目標)17の目標について、身近にある例から考え、未来図を語り合いました。「衣料品」の生産や供給をテーマに、写真付きカードを使い、環境汚染の現状や日本で年間廃棄される服の量などの問題が提起されました。また、途上国の生産者に不利となる産業構造や生命の危険を伴う生産過程の実態を学び、行き過ぎた物質主義の問題に対して、私たちのふだんの行動が与える影響を見直しました。



相互交流を積極的に行うワークショップ

ポスターセッション 県内から8団体が集まり、活動発表を通して、お互いに協働する取り組みへの期待や情報の共有、フェアトレードの輪を広げる交流ができました。フェアトレード商品の販売や試食も行われました。会場では次の世代を担う高校生や大学生が、積極的に発表や運営に参加しました。



各団体の活動を紹介するポスターセッション



基調講演をする原 ゆかり氏

基調講演 元外交官でForbes Japan誌「世界で闘う日本の女性55」に選出された原氏が、ガーナの発展のために2012年に持続可能な開発エコシステムの実現を目指すNGO「MY DREAM.org」を設立し、農村に幼稚園やクリニックを立ち上げ、農業生産の技術指導、女性の雇用進出、コミュニティーの関係づくりなどを支援した経験について話しました。

「国境や組織の壁を越えて、子どもたちが希望をもって

自ら描いた夢を追いかけられる環境へ改善していきたい」と大きな使命感を持つ原氏。「寄付」が貧困をなくす手短な国際協力だとするのは誤解であり、支援を受ける側が、援助国や行政にすべてを丸投げするのではなく、「主体性」をもって目の前の課題を克服し、一人ひとりが未来の創り手になること、そして「寄付からの卒業」に向けた中長期的な計画が必要であることを訴え、参加者の共感を呼びました。

トークセッション 原氏がパネリストとして再び登壇し、矢掛町を基点にセネガルとのつながりで支援活動に取り組んでいるjam tun代表の田賀氏も加わり、会場の約70名の参加者を交えて議論と意見交換を楽しみました。



パネリストの2人と司会進行役の横山 明子氏(右)

同じアフリカで国際貢献を続ける2人のパネリストは、それぞれが想うフェアトレードの魅力や、失敗から学んだ成功への道筋などを語り、参加者に多くの示唆を与えました。



「岡山のイイもの×イイこと」の話し合い

そして、参加者はグループに分かれて、地域ブランドや伝統文化、自然豊かな環境などを活用した多彩なアイデアを話し合い、ざっくばらんに全員で共有しました。

クラフトショップ イベントの最後には、アフリカの鮮やかな布を使って、どの季節にも合うリースやアクセサリを作る手工芸体験を行い「簡単でかわいいデザインの小物ができた」「思いがけないモチーフの柄を発見し、文化に触られた」などの感想が寄せられました。



小物づくりの指導をする田賀 朋子氏(右)

平成30年度収支計算書 (平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

総括表

〔Ⅰ〕事業活動収支の部

(単位：円)

科目	合計	一般会計	特別会計
基本財産運用収入	14,558,666	14,558,666	0
特定資産運用収入	881,778	881,778	0
会費収入	1,472,000	1,472,000	0
事業収入	1,010,946	52,000	958,946
負担金収入	1,444,499	150,000	1,294,499
補助金収入	105,024	0	105,024
受託事業収入	44,672,649	6,572,649	38,100,000
利用料金収入	93,901,835	0	93,901,835
雑収入	8,106,930	4,394,922	3,712,008
他会計繰入金収入	0	0	0
事業活動収入計	166,154,327	28,082,015	138,072,312
事業費支出	156,433,260	10,225,208	146,208,052
管理費支出	14,869,549	14,869,549	0
他会計繰入金支出	0	0	0
その他の支出	71,000	0	71,000
事業活動支出計	171,373,809	25,094,757	146,279,052
事業活動収支差額	△ 5,219,482	2,987,258	△ 8,206,740

〔Ⅱ〕投資活動収支の部

(単位：円)

科目	合計	一般会計	特別会計
基本財産取崩収入	200,000,000	200,000,000	0
特定資産取崩収入	0	0	0
建物付属設備売却収入	0	0	0
投資活動収入計	200,000,000	200,000,000	0
基本財産取得支出	200,000,000	200,000,000	0
特定資産取得支出	5,549,225	5,549,225	0
建物付属設備取得支出	0	0	0
投資活動支出計	205,549,225	205,549,225	0
投資活動収支差額	△ 5,549,225	△ 5,549,225	0

〔Ⅲ〕財務活動収支の部

(単位：円)

科目	合計	一般会計	特別会計
財務活動収入	0	0	0
財務活動支出	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0

〔Ⅳ〕予備費支出

(単位：円)

科目	合計	一般会計	特別会計
当期収支差額	△ 10,768,707	△ 2,561,967	△ 8,206,740
前期繰越収支差額	31,680,488	8,896,682	22,783,806
次期繰越収支差額	20,911,781	6,334,715	14,577,066

一般財団法人岡山県国際交流協会 評議員名簿

令和元年6月26日現在

役職名	氏名	職名
評議員	青山 肇	株式会社 中国銀行 参与
〃	沖 陽 子	公立大学法人 岡山県立大学学長
〃	沖 垣 達	重井医学研究所名誉所長
〃	奥 井 浩 平	日本貿易振興機構 (JETRO) 岡山貿易情報センター所長
〃	亀 森 敏 宏	岡山県町村会事務局長
〃	小 西 洋 史	岡山県市長会事務局長
〃	高 橋 邦 彰	岡山商工会議所専務理事
〃	中 島 博	岡山県経済団体連絡協議会座長
〃	羽 田 浩	一般社団法人 岡山経済同友会 専務理事・事務局長
〃	房 野 文 彦	岡山県県民生活部長

(五十音順)

一般財団法人岡山県国際交流協会 役員名簿

令和元年5月28日現在

役職名	氏名	職名
代表理事	野 崎 泰 彦	岡山県経営者協会会長
業務執行理事	肥 塚 秀 文	一般財団法人 岡山県国際交流協会事務局長
理 事	浦 上 典 江	NPO法人 岡山日本語センター理事長
〃	大 月 史 嗣	学校法人加計学園 学園国際交流局長
〃	岡 崎 安 洋	岡山大学国際部国際企画課 課長
〃	小 寺 恵 子	岡山県県民生活部国際課長
〃	近 藤 英 生	津山国際交流の会事務局長
〃	鈴 木 剛 史	公設国際貢献大学校 学校施設長
〃	角 田 みどり	一般社団法人 大学女性協会 岡山支部支部長
〃	竹 林 靖 哲	岡山市市民協働局国際課長
〃	長 野 育 子	国際ソロプチミスト岡山会長
〃	橋 本 信 子	元 岡山県教育委員会委員長
〃	藤 岡 隆 幸	岡山県教育庁高校教育課長
〃	松 畑 照 一	国立大学法人 岡山大学名誉教授
〃	森 健太郎	学校法人森教育学園副理事長
監 事	桑 村 琢	一般社団法人 日本旅行業協会中四国支部岡山地区委員会委員長
〃	吉 岡 誠	岡山青年国際交流会顧問

(五十音順)

情報相談コーナー・図書資料室ボランティア研修会 4月23日(火)

協会ボランティアを対象に研修会を実施し、11名が参加しました。はじめに肥塚 秀文 事務局長が、各事業はボランティアの協力



意見交換の様子

により成り立っていると感謝の言葉を述べ、新規事業と図書資料室の開室時間変更などについて説明しました。

各部署に分かれての話し合いが行われ、情報相談コーナーでは、外国人が気軽に交流できるスペースや相談しやすい環境づくり、外国人の興味をひく情報発信方法につい

て意見を出し合いました。図書資料室では、魅力ある空間づくりや、日本語学習者には日本語学習リソースコー



図書資料室の業務確認

ナーをアピールするなど、それぞれの目的にあった効果的な広報について、活発な意見交換をしました。

ボランティアからの提案をもとに、利用者増に向け、各部署で改善に努めることとしました。

留学生と県民との交流会 イタリア編

6月15日(土)

講師：岡山大学留学生 ジラルディ・ジュリアさん、ダッリーゴ・クリスティアーナさん、ドナト・シルビアさん



自国紹介プレゼンテーションの様子
(左からジラルディさん、ドナトさん、ダッリーゴさん)

岡山在住の留学生と県民との交流会を開催しました。イタリア出身の留学生が講師となり、国の位置や日本からの距離、ローマ、ナポリ、フィレンツェなどの主要都市、イタリアのグルメについて紹介しました。特に、パスタやピザ、エスプレッソなどのおいしそうな料理の写真を見た参加者から感嘆の声があがりました。

その後、イタリアの宗教や法律、人気のソーシャルメディア、謝肉祭やミラノファッションウィークなど文化的側面からもイタリアを知ることができました。イタリア語の成り立ちやあいさつの紹介、



参加者の様子

ジェスチャーについても話が及び、参加者もまねをして楽しく交流しました。質疑応答のコーナーで



チーム対抗のクイズ大会

は、気候や工芸品などについて、積極的に質問が飛び交いました。

講師から出されたイタリアにちなんだクイズに対し、チームで話し合い回答しました。クイズはプレゼンテーションに出てきた内容で、わきあいあいとした雰囲気の中で復習も兼ねて知識を深めました。

フリートークのコーナーでは、参加者は各テーブルを回ってきた留学生との会話を楽しみました。これからイタリアへ旅行を控えている人やイタリアに行ったことがある人など、大人から小さな子どもまで54名の参加者は、留学生と直接触れ合うことでイタリアのことを肌で感じる事ができました。



フリートーク交流

英語による絵本の読み聞かせ会①

6月23日(日)

講師：岡山大学留学生 ^{シュウエイ} 周 穎さん

岡山大学留学生 グロメイヤー・サイモンさん



楽しそうに絵本を読む周さん(左)

今年度 1 回目の読み聞かせ会は62名の参加者を迎え開催しました。

まずは周さんによる母国中国と出身地広東省の紹介です。中国の南に位置する

広東省は、文化が少し異なることを言葉や食べ物の違いで紹介しました。周さんが読んだのは「We Are in a Book! (訳：ほんのなかにいますよ)」。登場人物のぞうさんとぶたさんは読者が自分たちのことを見ていると気づいていて、読者に言葉を言わせようとします。「Banana! バナナ!」。周さんが表現豊かに読むと、子どもたちも続けて大きな声で言いました。

次は、グロメイヤーさんによる「How to Catch a Star (邦題：みつけたよ、ぼくだけのほし)」の読み聞かせです。男の子はどうやって星を捕まえようとするのか、グロメイヤーさんは絵を指さしながら、子どもたちにも言葉が伝わるようにゆっくりと読みました。読み聞かせのあとは、グロメイヤーさ

んの母国ドイツの紹介です。ドイツの子どもたちは日本のアニメが大好きなこと、ドイツでは人形劇「ジム・ボタンと機関士ルーク」の物語を子どもたちはよく見ることを紹介しました。ドイツ語の歌が流れるこの人形劇の動画を、ドイツ語と英語での歌詞の説明とともに見たあと、会は終了となりました。

今回の読み聞かせでは国の紹介に初めて動画を取り入れました。英語だけでなく、他国の言葉も耳にしました。「子どもたちは集中して見ていた」「英語以外にもほかの言葉にも触れられてよかった」「読み聞かせだけではないのがよかった」などの感想が寄せられました。



ドイツで人気の日本アニメの紹介

日本文化体験・交流会

7月13日(土)

講師：着付け 鎌木 二葉氏、巻き寿司作り 片岡 雅子氏
折り紙 新開 明子氏、お琴 平野 慶子氏

在住外国人と日本人参加者が63名集い、浴衣の着付け教室、折り紙教室(雛人形)、料理教室(花の飾り巻き寿司)をそれぞれ体験し、その後、お琴の演奏会を楽しみました。



協力して雛人形を作りました

着付け体験では、鎌木氏のもと、和室にて浴衣の着付けに挑戦しました。参加者からは「先生のデモンストレーションが最初にあったので、自分でチャレンジしながら着ることができてうれしい」「自分の浴衣を購入したので、祭りの際に自分で着てみたい」といった声が聞きました。折り紙教室では、新開氏と



かわいい花の飾り巻き寿司の完成!



ともに、難易度の

高い雛人形を協力しながら作りました。でき上がると、美しい作品を持ってそれぞれ記念撮影をしていました。巻き寿司作りでは片岡氏のもと、ハラル対応の具材の巻き寿司を楽しみながら調理しました。準備から片付けまで各テーブルで協力し合い、かわいい花の巻き寿司が完成すると笑顔でいっぱいになりました。

午後の交流会では平野氏によるお琴の演奏会を鑑賞しました。古典曲からディズニーメドレーまで、お琴の世界を身近に感じる素敵な演奏でした。演奏の後、希望者は先生に教わりながらお琴に触れてみました。



演奏の後、お琴に触れる参加者

参加者からは「国を超えて協力することができて良かった」「外国の方やはじめて会った方たちと楽しく交流できた」「日本の文化をもっと知りたいと思った」といった声を聞くことができました。

地域共生サポーター養成講座・研修会

7月27日(土)

養成講座 講師：京都府立大学京都地域未来創造センター コーディネーター・上席研究員 鈴木 暁子氏

研修会 講師：結=ふ YOU 多文化共生センターおかやま代表 大倉 美恵氏

発表者：津山にほんごの会 砂田 真理氏、岡山県行政書士会理事 森 淳氏

国際友好交流協会代表 朴 珍希氏



こちらのQRコードを読み取り、動画をご覧ください。

県内で生活する外国人住民のコミュニケーションや生活面の支援を行う「地域共生サポーター」として岡山県に登録しているボランティアと県民を対象に、養成講座と研修会を実施しました。

養成講座

講師に鈴木 暁子氏を迎え「多文化共生からアプローチする地域共生社会のグランドデザイン」をテーマとした講義と多文化共生に関わってきた先生の経験談などを聞きました。



鈴木 暁子氏による講義の様子

日本と地域で起きている人口と産業の構造変化によって外国人の受け入れ方が変わり、私たちの生活にも影響を与えることが分かり、31人の参加者は、多文化共生社会の実践



養成講座の様子

と安心して生活できる環境づくりが綿密な関係にあることを改めて認識することができました。他の地域での活動（IKUNOサラダボウルプロジェクト）の紹介や、岡山県内の外国人の現況の解説に併せて地域で必要とされている支援の仕方とリーダーに必要な素質についての講義は、身近にできる活動を考える良いきっかけとなりました。

研修会

第1部では、講師の大倉 美恵氏から多文化共生の団体を立ち上げる際に必要な書類や手続きなどについて具体的な説明を聞き、今後の活動の参考になりました。

第2部では、日本語教室での活動や改正入管法の説明、多文化共生活動に関わってきた実体験などの発表を通じて、外国人が困っているビザのことと多文化共生に必要な情報を共有することができました。実際に経験した事例を生で聞くことで、サポーターとして持つべきである心構えをあらためて考えるきっかけとなりました。



大倉 美恵氏による講義の様子

第3部のグループ別交流会は、同じ目的を持った参加者同士のグループに分かれ、発表者も加わって、活発な意見交換や情報交換が行われました。入国管理法についてももっと知りたかったという積極的な意見も出ました。どんな活動をすればよいか悩んでいるサポーターにとって、知り合いを増やすとともに、活動の方向が見えてきた良い時間でした。36名の参加者は、多文化共生への意識を高め、行動を起こすための有益なヒントを得ることができました。



発表者との交流会の様子

日本語教室開設・活動支援事業（日本語教室開設サポート制度）

県内在住の外国人にボランティアで日本語を教える活動を推進するため、日本語教室の開設を考えている方や、教室を開設してから1年以内の団体などに対して、当協会登録の「日本語教室開設支援サポーター」がアドバイスや教室見学の受入れを行いますので、ご活用ください。

対象団体

県内に住所を置き、月2回以上、定期的かつ自主的に、地域に在住する外国人を対象とした日本語教室を開設しようとしている、または開設してから1年以内の個人、少人数のグループ。

サポートの内容

当協会の「日本語教室開設支援サポーター」に登録している日本語ボランティア教室への見学について、協会が調整を行います。

申請方法&問合せ

申請書様式を協会のホームページからダウンロードし、郵送または持参。事業の詳細（実施要項、募集要項）はホームページをご覧ください。詳しくは企画情報課まで。（TEL:086-256-2914）

「私、岡山に住んでいます」 岡山で活躍する外国人をご紹介します

—出身地オランダについて

オランダ西部の北ホラント州にあるホールン出身です。人口が6万人くらいの小さな港町です。レンガ造りの歴史ある町並みがきれいに残っています。少し自転車で走り、



出身地 ホールン

町から出ると風車やチューリップ畑などオランダらしい風景が広がります。
オランダ料理はあまり有名ではありませんが、ストロープワッフルやクロケット、チーズなどがおいしいです。
おすすめの場所は、アムステルダムの運河やユトレヒトです。チューリップが見たい人はゴールデンウィークの時期がおすすめです。

—岡山に住むことになったきっかけ

2000年にオーストラリアで日本人の彼女と出会いました。2001年からオランダで日本語を勉強し、日本食品を輸入する会社で仕事をしました。彼女と私は、オランダと日本で会っていましたが、2006年結婚、2007年に岡山へ移住しました。

—仏壇店に就職することになったきっかけとやりがい

映像制作会社で岡山県の魅力を伝える動画を制作したり、広告会社で営業をしたりしていましたが、仕事をし



仕事場でのスロートハークさん

るうちに、いろいろと考えるようになりました。そのとき広告会社のお客様だった現在の仕事場にスカウトされ就職しました。

主に事務仕事をしていますが、配達をすることもあります。配達では、仕事柄、外国人にはふだん見えないところが見えます。家族を亡くしたばかりの方の家に行ったり、気持ちを聞いたり、



結んで、つないで、今がある

しょうたいぶつどう

仏壇店勤務(有限会社 照泰仏堂)

スロートハーク・
ワウター さん

Wouter Sloothaak



出身：オランダ ホールン

話をしたりします。さまざまな家庭環境もあり、状況によっては考えさせられることもあります。いろいろな家に行き、いろいろな人と出会えるのでいい経験です。この仕事には深みがあります。

仏壇はなくてもいい物ですが、仏壇があることで、先祖を大事にしたり、悲しんでいる方も一安心しほっとされたりします。

私はカトリック教ですが、この仕事に携わり思うのは、自分の気持ちをどのように表現するのか、何に向かって拝むのか、お祈りするのかは違いますが、先祖や家族を思う気持ちは、国籍・人類・宗教が違って変わらないということです。人間は人間だと思えます。人のためになっている仕事にやりがいを感じます。

—岡山について

天気が分かりやすいです。オランダでは1日の中でも暑かったり寒かったりします。激しいときは雪が降ったあと、気温が25度になることもあります。4月にオランダに帰る場合、夏服と冬服を準備します。



稲刈り作業中!

天気が分からないオランダと比べて、岡山は年間の天気が分かりやすいので、オランダ人にとってはおもしろいところですよ。

好きな場所は、岡山後楽園です。披露宴を後楽園でしました。真庭市勝山にある、のれんの町並みや蒜山高原も好きです。赤磐市にある竜天文台公園でキャンプもします。

今住んでいる地域は、田んぼや畑があり、米や野菜を作っています。自分で作った野菜を「おいしいな」と思いながら食べるのが好きです。気候がいいので野菜が何でも作れて楽しいです。

—メッセージ

12年間岡山に暮らして、いろいろな出会いがありました。困った時や辛いこともありましたが、たくさんの方に助けてもらい、人を助けることもできました。仕事場のモットーは「笑顔で過ごすために必要とされる企業をめざします」ですが、皆様も周りの人と助け合って、岡山で楽しい暮らしができますように。

米をはじめ秋の収穫を祝うお祭りは、日本各地で昔から行われてきました。世界ではどのような食べ物の収穫を、どのような形でお祝いするのでしょうか。

アルゼンチン



サルティニ・レアンドロさん
(ロサリオ市出身)
考古学者、大学講師/
日本滞在歴7年

アルゼンチンはワインの生産地として有名です。アンデス山脈のふもととは乾燥した気候と、山の雪解け水でぶどうの生産に適しています。また、朝晩の気温差が大きくおいしいぶどうが育ちます。山脈のアルゼンチン側は、南北にぶどうの産地がつながりワインロードと呼ばれています。

南半球のアルゼンチンでは、秋は3月からです。2～3月にかけてメンドーサで開催されるぶどうの収穫祭は世界5大祭りのひとつとも言われて、毎年多くの人が集まり、期間中は街中がカーニバルの雰囲気になります。

収穫後、ぶどうの守護聖母カロディラに果物を奉納することで仕事の終わりを祝うことから始まったこのお祭りは、公式のワイン収穫祭として今年で83年目です。パレードやぶどうの女王選びなど4つのパートから構成されたお祭りの最終日は、ギリシャ劇場で1000人を超えるパフォーマーによる歌と踊りの劇で幕を閉じます。

ほかに、マテ茶・果物・穀物・魚・羊・羊毛・チーズなど全国に100以上の収穫を祝うお祭りがあります。



最終日のメインのお祭り
(出典:http://fiestasnacionales.org/fiesta/118/fiesta_nacional_de_la_vendimia)

台湾



ユ・ペイシャンさん
(花蓮市出身)
大学留学生/
日本滞在歴5か月(4月来日)

台湾には16の異なる先住民族がいます。それぞれ独特の文化を持ち、収穫の祝い方も異なります。

豊年祭といわれる収穫祭は、各先住民族がそれぞれの集落で、穀物の収穫や家畜の生育を先祖の神々にお願ひ・感謝する行事です。また、この行事を通して若い世代に民族の文化・言葉・慣習を伝え継続していくことも大切です。

阿美族の豊年祭が有名です。阿美の集落は台湾の東の海岸沿いにいくつかあり、私の出身地、花蓮県にも多く住んでいます。

花蓮県主催の観光客も参加できる豊年節という大きな催しは、毎年7～8月に阿美の豊年祭にあわせて行われます。私も豊年節に行ったことがあります。カラフルな衣装の阿美の人たちが音楽やダンスを披露し、最後にはみんなで輪になって踊ります。竹筒の中で炊いたご飯や、豚の丸焼きなどの食べ物もあります。竹筒のご飯は私の祖母も作ってくれます。竹の香りでご飯がとてもおいしくなります。



豊年節での音楽の催し(ユさん撮影)



岡山倉敷 フィリピンサークル

事務局：〒713-8125 岡山県倉敷市玉島勇崎14-1
代 表：西 アニー

活動紹介

2001年、岡山県に暮らしているフィリピン人たちが集まり、3つの目標を掲げてグループ「倉敷フィリピンサークル(KPC)」を作りました。1つ目の目標は、フィリピンと日本の文化交流を進めることです。2つ目は、自分たちの子どもたちが、日本とフィリピンのルーツをもつことに誇りを持てるようになることです。3つ目は、フィリピン人同士の交流とサポートのために活動することです。

その後、KPCは、「岡山倉敷フィリピンサークル(OKPC)」に改称しました。OKPCは、ボランティア救援活動を非常に活発に行っていました。2007年には、非常に優れた活動をしているとして日本善行会より表彰されました。OKPCは、年を追うごとにより活発になり、2009年には「認定非営利活動法人AMDA (Association of Medical Doctors of Asia)」との間に協定を結びました。それ以降、OKPCはAMDAがフィリピンで活動する際に、コーディネーターや通訳者として参加しています。

OKPCはまた、在大阪・神戸フィリピン総領事館の傘下にある団体、PCCC (Philippine Community Coordinating Council) のメンバーでもあります。

設立以来、OKPCは、毎年初夏に開催する日本・フィリピンフレンドシップデーや、フィリピンの様々な地域におけるボランティアミッションという定期的な活動も行っています。ボランティアミッションでは、フィリピンの貧しい学校や、ミンダナオ島ダバオのストリートチルドレンに学用品を寄付する支援などを行っています。



日本・フィリピンフレンドシップデー(2019年)



フィリピン・タクロバン市の小学校で本の配給と折り紙教室を実施



海外技術研修員の来岡

海外の有能な青年を研修員として受け入れ、必要な技術の習得を通じて研修員の出身国の発展に寄与する人材を育成することを目的とする事業、国際貢献ローカル・トゥ・ローカル技術移転事業を今年度も岡山県から受託し、次の5名の研修員を迎えました。

- 山本 イリーナさん(アルゼンチン、社会福祉事業、AMDA)
 - 早川 カロリーナ 恵 中村さん
(ブラジル、幼児教育、鹿田保育園・鹿田幼稚園)
 - カン ナムオイさん
(カンボジア、日本語教育、岡山外語学院)
 - アユシ エンフ-アマルさん
(モンゴル、医療、岡山済生会総合病院)
 - 李 斐さん
(中国、人的資源管理、岡山商科大学)
- ※()内は出身国、研修科目、研修先の順

オリエンテーションや日本語研修を終え、それぞれの専門研修に意欲的に取り組んでいます。



日本語研修中の山本さん(右)と早川さん(中央)



カン ナムオイさん



アユシ エンフ-アマルさん



李 斐さん



研修員からの便り

ソック・ヴィンダーさん(カンボジア)

平成30年度海外技術研修員(研修科目:障がい者スポーツ)

岡山での研修を終えて帰国後、プノンペンでの職場(特定非営利活動法人ハート・オブ・ゴールド)に戻り、障がい者スポーツ事業を担当しています。アンコールワット国際ハーフマラソン(毎年12月に開催)での障がい者の出場サポートやカンボジアパラリンピック委員会と協力し開催した第3回パラ陸上競技会(プノンペンオリンピックスタジアム・3月)などに関わり、忙しくも充実した日々を送っています。



オリンピックスタジアムでの練習に立ち会うソックさん

岡山での研修はどれも貴重な学びだったといつも感じます。グロップ・サンセリテ・WORLD-ACで受けた研修では、車椅子競技のことがより深く理解できました。特にトレーニング方法に関して、ジムでのウェイトトレーニングも重要だと実感したので、現在はカンボジアの選手たちの練習プログラムにも組み込んでいます。

また、岡山県立岡山支援学校、岡山大学教育学部附属特別支援学校、旭川荘での学校生活や、岡山県障害者スポーツ協会主催の「岡山県障がい者スポーツ指導員初級養成講座」で得た知識と経験は、前述のパラ陸上競技会の際、さまざまな障がい者のサポートに生かすことができました。



ソックさんが担当する選手たち

時々、研修員のみなどと岡山を観光したことを思い出して、なつかしくなります。学んだことを周囲の人々に伝えながら、カンボジアの障がい者スポーツの発展を目指してがんばります。

令和元年10月からの岡山国際交流センター施設利用料金の改定について

令和元年10月1日からの消費税率の引き上げに伴い、当センターの施設・設備利用料金の改定をさせていただきますので、何とぞご理解をいただきますようお願いいたします。

なお、新料金の詳細につきましては、ホームページをご覧ください。

問合せ・申込み：一般財団法人岡山県国際交流協会 受付管理班まで
TEL 086-256-2905 FAX 086-256-2226
ホームページ：<http://www.opief.or.jp/oicenter/>

開館時間：9:00～21:00
予約受付時間：9:00～18:00
休館日：12月29日～1月3日の期間及び臨時休館日



国際会議場



イベントカレンダー

※都合により、内容が変更になる場合があります。
あらかじめご了承ください。

EVENT CALENDAR

10月

5日(土) 国際貢献・協力セミナー

県民の国際貢献に対する理解を深め、国際貢献活動への参加を促進するために、講演会を行います。

- とき 10月5日(土) 13:30～15:30
- ところ 岡山国際交流センター 2階 国際会議場
- 講師 竹沢 うるま氏(写真家)
- 対象 一般県民 ● 参加費 無料
- 定員 200名(要申込み) ● 申込み 企画情報課

10月

12日(土) フェアトレード交流会

10月の「おかやま国際貢献月間」に合わせて、持続可能な社会の取組みや、フェアトレード(公平・公正な貿易)についてざっくばらんに語り合う交流会です。

- とき 10月12日(土) 14:00～16:00
- ところ 岡山国際交流センター 7階 多目的ホール
- 参加費 協会会員、外国人、高校生以下 無料
一般 500円
- 定員 40名(要申込み) ● 共催 おかやまフェアトレードの会
- 問合せ 企画情報課

20日(日) 岡山を知ろう交流バスツアー

県内在住外国人と日本人の参加を募り、貸切バスで県内の旧跡・観光地を巡るとともに、お互いの交流を深めます。

- とき 10月20日(日) ● 行き先 備前方面
- 対象 県内在住の外国人、一般県民
- 参加費 外国人、協会会員 1,000円、
一般 3,000円(小学生 800円)
- 定員 県内在住外国人31名、日本人7名、
外国人協会ボランティア5名(予定)(要申込み)
- 申込み 企画情報課(9月25日(水)受付開始)

11月

9日(土)

日本語ボランティアスキルアップ研修会

県内在住外国人の日本語学習の機会の充実を図るため、研修会を開催します。

- と き 11月9日(土)13:00~16:00(予定)
- ところ 岡山国際交流センター
- 対 象 日本語学習指導の経験のある方等
- 参加費 無料
- 定 員 30名(要申込み)
- 申込み 企画情報課

11日(月)~23日(土・祝) 海外マガジン無料配布

過去の海外マガジンと書籍を無料でお配りします。

- と き 11月11日(月)~23日(土・祝)
10:00~17:00(日曜を除く)
- ところ 岡山国際交流センター 4階 図書資料室
- 配布マガジン TIME、NATIONAL GEOGRAPHIC、TUOI TRE CUOI TUAN、読者、人民中国 ほか
- 注 意 海外マガジン・書籍は一人1日5冊まで。譲り受けたマガジン・書籍の売却はできません。また、個人の読書・学習以外の目的に利用することはできません。

23日(土・祝) 英語による絵本の読み聞かせ会 特別編

今回は特別編として、たくさんの外国人講師を招いて、いろいろな絵本の読み聞かせを行います。

講師の指導によるゲームや、講師の母国紹介などもあります。講師や参加者同士で交流する時間もあります。

- と き 11月23日(土・祝)10:30~12:30
- ところ 岡山国際交流センター 地階 レセプションホール
- 講 師 県内在住外国人
- 対 象 県内在住の外国人及び日本人の子ども(3歳~小学6年生)とその保護者等
※子どもだけでの参加は不可。
- 参加費 協会会員・外国人・小学生以下 無料 一般 2,000円
- 定 員 60名(要申込み) ●申込み 企画情報課

30日(土) 国際スポーツ交流会 -ピンポンde交流!

2020年東京オリンピックに向けて、県民と県内在住外国人がスポーツを通じて交流を深めます。

- と き 11月30日(土)13:00~16:00
- ところ 岡山国際交流センター 8階 イベントホール
- 対 象 協会会員、県内在住外国人
- 参加費 無料
- 定 員 日本人(協会会員)16名、外国人16名(要申込み)
- 申込み 企画情報課

12月

8日(日) 地球市民講座

混迷し続けるシリア情勢、ミャンマーでのロヒンギャ迫害など、ここ数年、世界の人権状況はますます深刻なものとなり、難民の数は7,000万人を超え過去最大規模となっています。そこで「平和の空の下で夢を叶えたいー中東の難民問題と現状ー」をテーマに、難民への理解を深めるとともに、日本が取り組むべき課題について考えます。

- と き 12月8日(日)14:00~16:30(予定)
- ところ 岡山国際交流センター 2階 国際会議場
- 内 容 韓国の俳優チョン・ウソン氏のイラクレポート短編映画「君たちを忘れない〜チョン・ウソンのイラクレポート〜」上映会、川上 泰徳氏(中東ジャーナリスト)の講演会
- 参加費 無料
- 定 員 80名程度(要申込み)
- 申込み 企画情報課

21日(土) 留学生と県民との交流会 特別編

県内在住の留学生が講師となり、文化や習慣などの紹介をします。

- と き 12月21日(土)(予定)
- ところ 岡山国際交流センター 地階 レセプションホール、8階 イベントホール
- 参加費 協会会員・外国人・高校生以下 無料 一般 2,000円
- 定 員 60名(要申込み)
- 申込み 企画情報課

会員募集



一般財団法人岡山県国際交流協会では
会員を募集しています。

☆会員の特典

- 会報誌「おかやま国際交流」による国際交流情報の提供(年4回)
- メールマガジンの配信(月1回)
- 協会主催事業への参加費割引(団体会員は1団体2名までを割引)
- 入会時に記念品をプレゼント

☆年会費

個人会員：2,000円 団体会員：10,000円
賛助会員：30,000円

☆申込み・問合せ 総務課まで

TEL:086-256-2000 ※9:00~17:30(月~土曜日)
E-mail:kokusai@opief.or.jp

問合せ

一般財団法人 岡山県国際交流協会

企画情報課 企画情報班

☎086-256-2914 (月~土 9:00~17:00)

総務課 ☎086-256-2000 (月~土 9:00~17:30)

会議室等の予約 受付管理班 ☎086-256-2905 (9:00~18:00)

[休館日]12月29日~1月3日及び臨時休館日(ただし日曜日は貸室業務以外休み)

編集・発行

〒700-0026 岡山市北区奉還町2-2-1
岡山国際交流センター内
一般財団法人 岡山県国際交流協会
☎086-256-2000(月~土 9:00~17:30)
☎086-256-2226

ホームページ: <http://www.opief.or.jp>

Facebook: <https://www.facebook.com/coolopief/>

Twitter: https://twitter.com/opief_okayama

E-mail: kokusai@opief.or.jp

協会HP

